

令和3年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

参考資料 2

施設名: 大阪府立少年自然の家

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 提案の履行状況に関する項目	(3) 利用者の増加・サービスの向上を図るための具体的手法・効果 ④ 広報・情報発信の取組みが適切になされているか。	・紙媒体での広報も良いが、ホームページやSNSを更に活用する方が広告宣伝効果が高い。 ・SNSの発信方法や検索エンジンでキーワードを入れた際に、上位に表示される方法など、費用はかかるが、専門業者からアドバイスを受けることも検討してはどうか。	・ホームページやSNSによる広報の充実を指定管理者に求める。 ・検索エンジンで上位に表示させるため、専門業者からアドバイスを受けるなどの検討を指定管理者に求める。	・ホームページやSNSによる広報の充実によりフォロワー数の増加を図る。 ・有料web広告の活用によるマーケティング強化や検索エンジンで上位に表示させるための有料プランを検討するなどの取組みを行う。
I 提案の履行状況に関する項目	(5) 府施策との整合 ① 府・公益事業協力等の実施状況は適切か。	・コロナ禍で、子どもたちの体験活動の機会が減少している中、施設に来てもらうだけでなく学校等に出向いて、プログラムを実施するなど、大阪府の体験活動を推進していただきたい。	・大阪府の体験活動推進を目的とし、「出前講座」メニューの充実及び学校等への「出前講座」の実施を指定管理者に求める。	・大阪府の体験活動推進を目的とし、「出前講座」メニューの充実及び学校等へ「出前講座」を実施する。 ・野外教育や防災教育をテーマとした講師派遣など、施設に来なくても自然の家のプログラムが体験できるよう取組みを推進する。
I 提案の履行状況に関する項目	(5) 府施策との整合 ④ 府民、NPOとの協働の実施状況は適切か。	・イベントなどで、企業に協賛いただくことは利用者の増加にもつながると思うので、今後も充実していただきたい。	・企業に協賛いただき、幅広い体験活動の機会を利用者に提供するよう、指定管理者に求める。	・イベント等において、企業と協力することで、利用者の満足度を高めるとともに利用者数の増加を図る。
Ⅲ 適切な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力 ① 管理運営業務全体として職員体制は適切か。	・繁忙期にはどうしても長時間労働になってしまいがちだが、そうなる利用者への安全管理などがおろそかになる可能性がある。仕方がない部分もあるが、少しでも余裕を持った勤務割など、働き方改革という観点で、十分に気をつけて運営していただきたい。	・事業について、過去の事業参加者数などを参考に利用者ニーズを把握し、事業実施の可否を判断するよう、指定管理者に求める。	・事業について、過去の事業参加者数などを参考に利用者ニーズを把握し、事業実施の可否を判断する。 ・オーバーワークにならないよう、適切な労務管理を行う。